

熊谷守一



1880年岐阜県恵那村に生れる。父は製紙工場を経営し、市長や衆議院議員を歴任。

1900年東京美術学校西洋画科入学。黒田清輝・藤島武二等の指導を受ける。同級に、青木繁・児島寅次郎・山下新太郎・和田三造など。

1904年東京美術学校西洋画科を主席にて卒業。

1916年二科会会員に推挙される。

1947年二紀会創立に参加、会員となる。

1967年文化勲章を「これ以上、人が来るのは困る。」と辞退する。

1972年勲三等叙勲も、「お国のためには、何もしていない。」と固辞する。

1976年岐阜県付知町に、熊谷守一記念館開館。

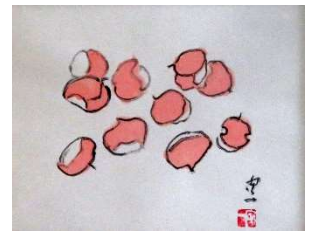
1977年肺炎のため死去。

1985年東京都豊島区に、熊谷守一美術館開館。



折雛

自筆サイン #23 1973年
シルク 額寸 56.2x45.9



栗

印譜 #44 1973年
木版 画寸29x32.59



つばき

自筆サイン #24 1973年
シルク 画寸 38.5x45.6

軸装仕立

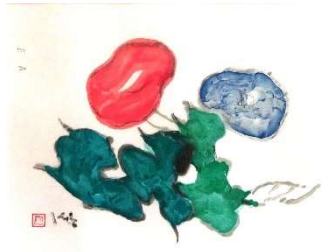


つつじ 大日本絵画版元
守一の印 大日本絵画版元
リトグラフ 画寸 29x38



百合

印譜 #46-5
1975年 木版
画寸 23.3x45.6



朝顔

印譜 #34 1976年
リトグラフ 画寸 36x50



椿

印譜 #45-4 1975年
木版 画寸 27.8x40.2



柿

印譜 #45-3 1975年
木版 画寸 27.8x40.2



寒山拾得 印譜 #46-1
1975年 木版 画寸 23.3x45.6

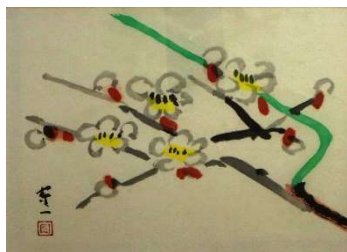


百日草

印譜 #42.5 1971年
木版 画寸 50x39.6

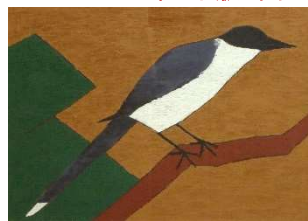


かまきりとひかん花
印譜 #45 1975年
木版 画寸 29x25.8



白梅

印譜 #45-1 1975年
木版 画寸 27.8x40.2



柿に鳥

印譜 #44-7
1973年 木版
画寸 29x32.5



つゆくさ 印譜 #46-4 1975年 木版 画寸 23.3x45.6